

在宅高齢者を支援

総合事業見据え事業展開

介護事業者 最新事例

医療法人北辰会、介護事業を主とする民間企業のシエイコム、高齢者と障害者の施設を運営する社会福祉法人聖風会で形成される北辰会グループ(愛媛県西条市)は、総合事業を見据えた事業展開をしている。リハビリマシンやPepperの導入などハード・ソフト面の充実を図り、より多くの高齢者が集う施設作りを進めている。



北辰会
グループ
眞鍋敏
代表

——グループの概要について。

眞鍋 医療法人北辰会シエイコム、社会福祉法人聖風会で北辰会グループを形成している。北辰会は訪問診療を行い、外科・整形外科・内科などを診療科目とするベッド数101の西条市民病院、29床の小規模老健、訪問看護事業所、居

宅介護支援事業所を運営。居宅介護支援事業所は西条市民病院内に設置している。

シエイコムは介護付有料老人ホーム、グループホーム、認知症対応型デイサービス、デイサービス、小規模多機能型居宅介護などのほか託児所や保育園を、聖風会の特養、養護老人ホーム、デイサービス、居宅介護支援事業所、障害者支援施設、ケアホームなど高齢者・障害者向けの事業所を運営している。

——グループで重視していることは。

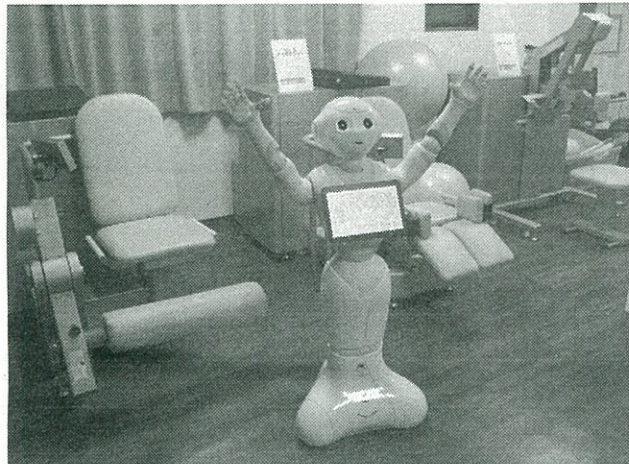
眞鍋 医療・介護・福祉事業の法人として、病院から老健、在宅の流れと、必要に応じた適切な介護事業所を利用してもらうことを大切に考えている。病院退院後もサポートを途絶えさせないことで重度化を防ぎ、在宅復帰を果たしてもらいたい。

最近では総合事業の準備を進めており、要支援・要介護ではない人の受け皿となるために必要なものは何かを考えている。

——総合事業を展開している。

眞鍋 2004年にオープンした定員30人の中規模型デイサービス「いしづちの湯」を増築・リフォームし、高齢者専用のリハビリマシン「リハトレナー」(販売:サロンオールデイズ/東京都中央区)を導入し、重度化した高齢者を受け入れるスペースも作った。

いしづちの湯はこれまでリハビリの加算は取れていたが、リハビリマシンを採り入れたのはサービス向上を考えてのこと。リハトレナーは利用者個々の負荷を自動調整でき、インナーマッスルも鍛えられ、トレーニング結果をゲ



▲「リハトレナー」とPepperを導入するなどハード・ソフト両面の充実を図っている

元気高齢者の受け皿目指す



▲総合事業を見据え増築・リフォームした「いしづちの湯」

——介護予防に力を入れ、元気高齢者も集う施設にしてい。

眞鍋 筋力を維持・向上させ自分で日常生活を送ることのできる介護保険を使わない高齢者をいかに増やしていくかを考えている。漠然とトレーニングを続けるのは難しいので目標は設定しなければならぬ。

リハトレナーのみならずPepperも導入し、ハード・ソフト両面のさらなる充実を図っている。メンタル部分の豊かさがなければ認知症にも繋がりが弱くなってしまうため、サロンスペースも設けて仲間存在が励みになるようコミュニティ作りも大切にしたい。

様々な設備・プログラムなどを用意することで、より多くの高齢者が集う施設になるだろう。老人会や市へのPRも強化し、当社の取り組みの結果を示すこともしていきたい。